

25年以上ヘルスケア歯科診療を続けてきて、わかったこと、思うこと



藤木省三（神戸市開業）

2) デンタル X 線写真は臨床のバロメーター

第1回で口腔内写真の活用について書きましたが、今回はデンタル X 線写真（以下デンタル）です。デンタルについてはすでに滝沢江太郎さんが詳しく連載してくださっていますが、私なりの考えをまとめてみました。

開業を控えたある日、半年前に開業した同級生の診療室に見学を兼ねて遊びに行きました。診療室を一通り見た後に院長室に行くと、シャーカステンに今まで見たこともない美しいデンタルが並んでいました。私も勤務医のころはそれなりにデンタルには気をつけていたのですが、別格の美しさでした。そのときの衝撃は今でも思い出します。

そこから話が始まって、結局その日は臨床の話で盛り上がり、気がついたら徹夜で話をしていました。その後、彼が岡賢二さんと月光光博さんが主催されている勉強会に入っていることを知り、私も参加させてもらうことができました。友人のところで出会ったデンタルによって、私の人生が変わりました。

開業前に美しいデンタルとであえたことはとても幸運なことでした。実際には、厳密な平行法のインジケーターに挫折したり、現像機も変わったりしましたが、今でも効率よく適切なデンタルを撮影できるように心がけています。

図1は歯周治療を歯科衛生士と始めたころに先輩歯科医院の歯科衛生士に来てもらってSRPをしてもらった症例です。良好な経過がよくわかります。もしこのときに正しくデンタルを撮影する技術がなければ、SRPの効果もよくわからなかつたろうと思います。正しく撮影できる技術の重要さや、10年、20年後も比較できるデンタルの重要性がわかります。

このように、日々の臨床の質を示すものの一つがデンタルです。う蝕や歯周病、その他の疾患の診断、時間軸で経過をみている病変、治療後の結果など、適切に撮影されたデンタルがなければ知ることはできません。

ニュースレターで滝沢さんが連載してくださったように、位置づけがきちんとできているのが大切です。正しく写っていないデンタルを忙しいからとそのまま受け入れてしまっていないでしょうか。

図2は私が撮ったデンタルですが、患者さんへの指示が悪くうまく位置づけができず、二等分法のようになっていました。6Iの二次う蝕や歯槽骨頂が不明確です。図3は再撮影したものです。図2よりも平行法に近く、2Iの遠心のマーシンの不良、6Iの二次う蝕、5Iの根尖の透過像、歯槽骨頂が明確になっています。この2枚からだけでも、正しくデンタルを撮影する

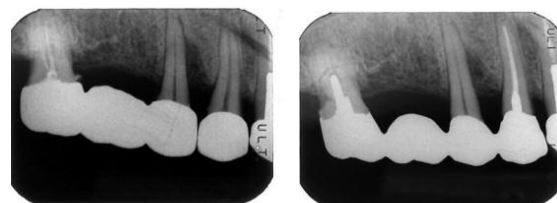


図 1



図 2

図 3



図 4



図 5

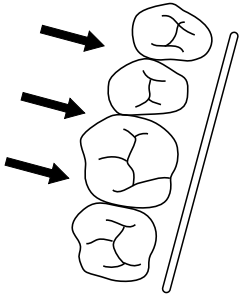


図6 歯列に平行に位置づけ

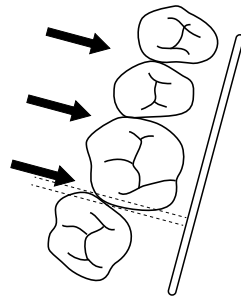


図7 隣接面が重なる

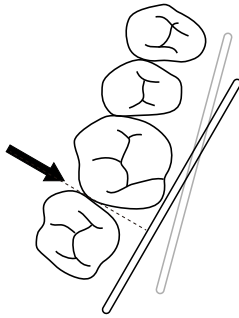


図8 フィルムの方向と照射方向を変える

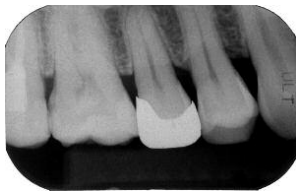


図9

意味がよくわかると思います。

とくに歯周治療では歯槽骨頂の変化が重要なので、できる限り平行法に近く撮影することが診療の質を上げることにつながります。デンタルに写らないものを私たちは知ることができません。言い換えれば、デンタルの質が臨床の質を表しているのです。

そのためにはインジケータを使いこなさなければなりません。図4では、 \angle が捻転しているために隣接面が重なって写っています。これでは隣接面のう蝕の診断ができません。私はデンタルでは図5のようなインジケータを使っていて、通常は図6のように歯列に平行に位置づけして撮影していますが、この角度では図7のように隣接面が重なってしまいます。そこで、隣接面が重ならないようにするために図8のようにフィルムとX線の照射の方向を変えて撮影しました。その結果が図9です。 \ominus 遠心にう蝕が始まっていることがわかります。見たいところを見ようと思えば、インジケータを使いこなして自分で撮影しなければなりません。

このように、デンタルの撮影はとても難しく、患者の口腔内の状況によって調整しながら撮影する必要があります。私も撮影の際には、前回のデンタルを見直して写りがよくないことがあればその原因を考えて調整しています。スタッフにデンタルの位置づけを任せていると聞くことがありますが、そういうことは難しいのではないかと想像します。

臨床の質を上げるために、もう一度自院のデンタルを見直していただければと思います。



認証ミーティング (第20回)

2023年7月9日(日) 10:00 ~ (予定)

会場: AP新橋(東京) & オンライン(Zoom)

会場はAP新橋(東京)にて行います。なんらかの不測の事態の場合、一部オンライン参加となる可能性があります。会員は、どなたでも視聴が可能です。視聴ご希望の方は、学会ホームページよりお申込みください。

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できるまたとないチャンスです。視聴を申し込まれた方は、後日YouTubeでアーカイブが視聴可能です。

認証審査エントリー診療所

医社 博山会 沼澤デンタルクリニック(東京都)
 いいだ歯科クリニック(福岡県)
 久米おとなこども歯科(兵庫県)
 新百合ヶ丘南歯科(神奈川県)
 医療法人 須藤歯科診療所(岡山県)
 たの歯科(大阪府) (エントリー順)

外部審査員 未定

視聴方法

会場参加(東京) 1,200円(お弁当代)
 オンライン 無料(Zoom ウェビナー)
 申し込み: 6月9日(金) 受付開始

